

脳卒中からの回復を目指し 栄養サポートチーム(NST)が活動しています

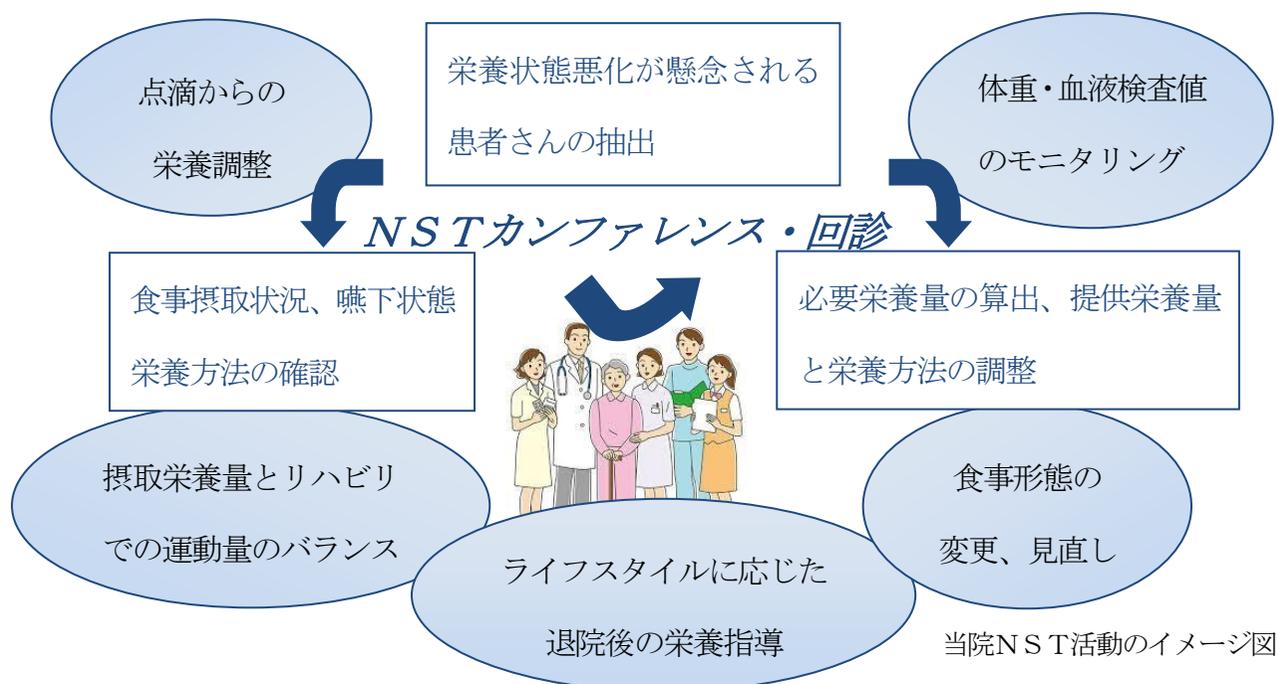
NSTとは？

栄養サポートチーム (Nutrition Support Team) の頭文字をとったもので、栄養状態の悪化が心配される患者さんについて、専門的な栄養知識の研修を受けた医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーション技術科スタッフ、臨床検査技師、医療事務など、多職種が連携しチームとして総合的な栄養サポートを行っています。脳卒中後の速やかな回復のためには、何よりも先ず栄養状態を改善し、体力を向上させる必要があります。その上で、リハビリに取り組んでいただいています。



【多職種によるカンファレンス】

当院では、研修を受けた2名の医師が常勤しており、週に1回実施している NST カンファレンス、回診を通して患者さんの状態を把握し、早期治癒改善に向けた栄養管理を進めています。



NSTによる栄養管理を必要とする方

アルブミン値 3.0g/dl 以下※1をはじめ、栄養指標となる血液検査データに異常があったり、経口摂取が困難であったり、体重および食事摂取量に著しい減少がある方が対象です。その他にも褥瘡（床ずれ）のある方など低栄養状態の方も対象となっています。

※1 アルブミン値とは、血液中のたんぱく質で、栄養状態の評価に用います。基準値:3.7～5.5g/dl



口から食べ、腸で消化吸収を行う大切さ

腸には多くの神経や血管が集中し、腸内環境が全身状態に大きく影響することから、「第二の脳」といわれています。

点滴のように腸管を使わず血管を経由する栄養と比べ、口から食べて腸を使う消化吸収では、免疫機能や生活の質（QOL）の改善効果がより高まり、脳卒中からの回復やリハビリに多くの効果을上げています。

患者さんの状態に応じ、可能な限り経口摂取に向けた栄養管理を行うことで、患者さんも口から食事を摂取する喜びと、社会復帰への意識が高まります。

脳卒中からの回復は、まず、口から食事を摂ることが第一歩であり、それを目指して NST チームが率先して取り組み、リハビリチームとも連携して、患者さんの社会復帰を手助けしています。

NST 専門療法士 降籬 典子（管理栄養士）